

## 第1回 旧豊田貯水池利活用懇談会概要

### ○ 開催日時

令和元年6月25日 午後1時から

### ○ 会議内容

(1) 会議及び会議録の公開・非公開について → 非公開とすることで全会一致

※郡山市情報公開条例第7条第1項第4号に該当

(2) 旧豊田貯水池利活用（案）について → 了 承

資料にて説明

### (3) その他

【主な意見等】※各意見の大括りは発言内容毎に事務局が整理したもの。

### ○ 歴史・文化について

- ・安積疏水の石積み等、壊すのは簡単だがもったいない。郡山市が100年後に「大事だったのにね」と言われないように、今あるものを残すべきところは残すというのが大事だと考える。

### ○ みどり・環境について

- ・この一帯は緑が多いし、池もたくさんあるが、きれいに整備された芝生広場のような緑が目立つ。自然的な緑や水辺がないので、それを作れば、さらに、そこで遊べるような機能を作れば差別化や役割分担ができるのではないか。
- ・都市公園は人工的に整備してしまいがちで、自然的になりにくい懸念がある。他の公園よりも自然的にしたい。
- ・いわゆる都市公園にするかどうかは大きな問題。公園とする場合、緑は守れるが、都市公園法の適用となるので面倒な手続きも生じてくる。都市公園として整備していくかどうかはちゃんと議論した方がよいと考える。
- ・グリーンインフラというのは、「これがそうだ」というものがないので、どんな施設を入れてもどんな土地利用をしてもグリーンインフラの導入は可能である。今後整備の方向性がはっきりしていく中でいかようにでも対応できるが、例えば、雨水の一時貯留をするというのは早い段階で決めておけばより総合的な取り組みができると思う。

### ○ こども・市民交流・健康について

- ・20年後の今の子どもたちの未来をどうつくるかが大事だと考える。

- ・敷地に降った雨を敷地の中で一定期間とどめておき、一時的に利用するということは考えられる。ただ、雨水だけだと常に水を確保するのは難しい。田んぼもいいと思うが、水はポンプアップしないと厳しいかもしれない。
- ・次の時代の子育て・教育・就労、シニアなど、多様な世代が教育という視点で交わる空間としてはどうか。(シニア世代が先生を行う教育施設等)
- ・(子どもたちにとって) 実体験は非常に大事で、なるべく小さいうちに広い敷地を使って、生きる力を育てるための田畑と家畜・生物のいる自然を準備したい。
- ・海外の事例で、公園の中で運営組織を作りそこが色々なマネジメントをするという形が生まれている。どういう利用者がどう使うかというところまで踏み込んで考えている。
- ・ニューヨークのブライアンパークの事例だと、それぞれの運営団体がいて、朝から晩までスケジュールが組んである。マネジメントだけではなく、アクティビティに関しても市が責任を持たないといけないが、そのためにはプレイヤーやスポンサーが必要である。
- ・一部でよいと思うが、機能としてオープンなシェアスペースがあるといい。

#### ○ 防災について

- ・5号配水池が東側駐車場地下にあり、当初は取り壊す予定であったが、雨水対策として使用している。平成26年度より100mm/h安心プランを進めており、ゲリラ豪雨対策として(雨水貯留施設の)貯留機能は必要不可欠と考えている。
- ・防災施設は周辺にもあるが、想定している災害は地震災害を対象とした施設ではないか。郡山のこれまでの災害特性を見ると水害が多いので、これに対応した対策が必要である。
- ・郡山の災害と特性を踏まえて今後の跡地利用を考える必要がある。何かを新たに作るというよりも、自然を活かして何かできないか考えるべきである。
- ・これだけの敷地の規模なので、この敷地に降った雨は、この敷地の中で一定期間とどめておくようなグリーンインフラは考えられる。

#### ○ まちづくりについて

- ・超少子高齢化の未来に、コンパクトシティはやっていくべきである。
- ・周りには商業施設などの施設も充実しているため、この場所にハコモノを整備することは考えにくい。
- ・今、軽井沢に風越学園を建てているが、同世代の人たちは風越学園に子どもを入れるために引越しをしている。もしかすると移り住んでここで教育や生活を営む可能性を秘めた場所なのではないかと考える。
- ・駐車場がほしいという意見もあるが、いずれ交通手段も変わるし、シェアする時代が来ると考えられる。そのために、新しい交通手段のキーステーションとして残しておくべきではないか。暫定利用として駐車場とするのはよいと思うが、今あるものだけではなく、その先も含めた形で新しい時代に新しい機能を持たせられるストックとして有効に使うべき。

- 車をシェアして周遊する際の拠点としてこの場所が使えると考えている。次の世代に残すときは、新しい機能の需要が出てきた場合にこの場所が使えるようにするというのもよいと思っている。
- 開成山公園とあわせて「歩いて楽しむ」というような場所として展開できる可能性がある。作りこまないことが将来への余地となることができないかと思う。
- 将来をイメージしてやらないと、現状の社会の課題は 20 年後の課題にはなっていない。今は所有するという価値観だが、シェアする共有するという課題になっていく。そういうこの先の時代を読んだ郡山を考えてほしい。